

女性活躍推進事業【岡崎市】

地域の実情と課題

本市における女性の就業率は全国平均と比べて低く、女性の年齢階級別労働力率は、全国よりも深いM字カーブとなっている。

本市の生産年齢人口は既に減少傾向にあることから、事業所への女性活躍推進、働き方改革推進のため、啓発・支援が急務である。

テレワークによる女性就労を実現化させるためには、事業所のテレワークに関する理解浸透及び女性に対する幅広いテレワークの就労スタイルを提示することが求められる。

事業の特徴

①女性を対象としたテレワークに関するセミナー

女性の自営型テレワークに関する認知を広げるため、仕事内容、実施方法等に関するセミナーを実施。その後、セミナーと並行し、eラーニングによるビジネススキルの向上を行った。

②ビジネスマッチングの開催

事業所と女性のビジネスマッチングを行うことで、女性の柔軟な働き方を実現させ、テレワークの事業モデルの確立を図った。

③事業所へアドバイザー派遣

市内事業所のワーク・ライフ・バランス向上のためアドバイザーを派遣した。

事業の効果

セミナー等を通してテレワークに必要な知識、スキルの習得を支援した。自営型及び雇用型テレワークのビジネスマッチングを行い、テレワークによる女性就労モデルの定着を図った。

セミナーの延べ女性参加者数 目標:50人 実績:61人

目的・目標

【目的】

女性を対象に、テレワーカーとしての育成と就労支援を行い、時間や場所にとらわれず効率的に女性のスキルアップを図る。市内事業所には、アドバイザーを派遣し、女性活躍を中心とした働き方改革・テレワーク導入支援を行う。また、ビジネスマッチングを行うことで女性のテレワークでの就労を支援するとともに、市内事業所における労働力不足の解消を図ることを目的とする。

【目標・達成状況】

- ・ビジネスマッチングの開催
- ・セミナーの延べ女性参加者数 ⇒ 61人

連携団体

- ①岡崎市男女共同参画推進審議会
岡崎商工会議所、連合愛知三河中部地域協議会
岡崎信用金庫
- ②愛知県

今後の課題

事後アンケートからは、製造業の多い本市においても、テレワーク就労に対する女性のニーズは高く、柔軟な就労形態として非常に有効であることが確認できた。一方で、テレワークの利便性やテレワーカーの活用に対する雇用者側の理解はまだ途上にあり、被雇用者側は契約内容やスキルアップについて漠然と不安を抱いていることから、両者のマッチングに向けたフォロー体制をより一層充実する必要がある。

女性を対象としたテレワークに関するセミナー

女性を対象に、テレワーカーとしての育成と就労支援を行い、eラーニングを活用することで時間や場所にとらわれず効率的に女性のスキルアップを行いました。

自営型及び雇用型テレワークでのビジネスマッチングを行うことで、女性のテレワークでの就労を支援するとともに、市内事業所における労働力不足の解消を目指しました。

合わせて、事業所にアドバイザー派遣を行い、女性活躍やワーク・ライフ・バランスに向けた支援を行いました。

スキルアップセミナー概要

- 【日程】 第1回：令和3年10月12日（火）
第2回：令和3年10月19日（火）
- 【参加人数】 第1回：30名 第2回：31名
- 【会場】 図書館交流プラザ りぶら
オンライン
- 【内容】 テレワーカーとしての自立を目指し、必要な知識・スキル・ノウハウの取得。

ビジネスマッチングイベント概要

- 【日程】 令和3年12月10日（金）
- 【参加人数】 31名
- 【会場】 図書館交流プラザ りぶら
- 【内容】 テレワーカーと事業所のマッチングイベント。

アドバイザー派遣事業概要

- 【派遣回数】 11回
- 【内容】 行動計画の策定支援、ハラスメント対策研修等

